

No	項目	要件	標準	カスタマイズ	運用対応	対応不可	特記事項
1	OS・UI関連	Microsoft Edge等のブラウザ上で動作するウェブアプリケーションであること。 ※InternetExplorerのみ不可。					
2		モバイル端末については、iOS及びAndroidのスマートフォン等で動作可能であること。					
2		操作中に、ヘルプメニューまたは操作マニュアルの該当箇所を画面上で参照できること。また画面上のヘルプメニューやマニュアル情報を印刷できること。					
3		簡易な入力を実現するため、画面上でコピーアンドペースト機能を用いた入力機能を有すること。					
4		キーボードでのスムーズな入力操作を実現するため、画面上の入力項目にタブインデックス等の設定を有すること。					
5		キーボードでのスムーズな入力操作を実現するため、画面上の入力項目に応じてIMEが自動で切り替わる機能を有すること。					
6		業務画面で日付を入力する際は、直接入力のほか、カレンダー上で日付を選択して入力する機能を有すること。					
7		入力必須項目が入力されていない場合、または不適切なデータが入力された場合には、ユーザに警告を発する機能を有すること。					
8		入力項目のうち入力必須項目については、入力必須である事を視覚的に認識する形式で表示すること。					
9		必要に応じて業務画面を複数開き、それぞれ処理ができること。 その際は、各業務画面を開いた状態でも、画面上に業務メニューを表示させ、メインメニューに戻ることなく他の業務に移れること。					
10		複数の検索項目を組み合わせて検索を行う機能を有すること。その際に、ORとAND検索それぞれできること。					
11		システムから出力される帳票は、印刷だけでなくPDFで出力できること。					
12		画面上にて、職員番号や所属など一意のコードを入力する際は、氏名や所属名など検索できる機能を有すること。					
13		所属内での共有事項について、トップ画面やポータル画面等に表示し、情報を共有することができる。					
14		ログイン後の画面には、付与された権限に応じて使用できる業務のみがメニュー上に表示されること。					
15		所属情報をツリー構造のように階層として登録できること。					
16		システムで使用する用語、メッセージ、定数等をパラメータ等にてメンテナンスできること。					
17	申請画面において、項目の配置順を任意の順に設定できること。						

No	項目	要件	標準	カスタマイズ	運用対応	対応不可	特記事項
18		申請画面において、配置するコントロールを任意に選択できること。 テキストボックスやラジオボタン、コンボボックスなど用途に合わせて、どれを配置するか設定できる。					
19		一覧画面において、項目の配置順を任意の順に設定できる機能を有すること。					
20		一覧画面において、配置する項目を任意に選択できる機能を有すること。					
21		メニュー表示を容易に変更できるメンテナンス画面を有すること。					
22		お気に入り登録等の機能により、よく使用するメニューのショートカットをトップメニューに設定することが可能。					
23	通信	システムの導入規模として、70拠点規模での運用が可能であること。					
24		管理対象人数として、常勤1,800人規模に対応できること。					
25		70台規模のシステムへの同時接続に対応ができること。					
26		オンライン利用時間については、業務単位に管理が可能であること。また、システム管理者等の特定の利用者については利用時間外においても操作可能であること。					
27		クラウドサービスについて、オートスケールに対応していること。 高負荷時に自動拡張のうえ、サービスが停止することなく安定した性能を提供できること。					
28		各種申請業務は、利用者の申請後、電子決裁へ連携し、システム上で決裁事務が実現でき、申請用紙なしでの業務（ペーパーレス）が可能であること。					
29		申請の処理状況（申請中、決裁済など）が画面上で確認可能であること。					
30	申請の処理について、アカウントごとに権限を設定することが可能であること。						
31	人事異動前の過去所属で申請した内容の照会が可能であること。また、修正する場合は、異動前の所属にて申請できること。						
32	各種申請を画面上にて一時保存できること。						
33	申請時にファイルを添付することができること。						
34	申請状況の確認画面と申請の承認画面など、業務上必要となる場合は複数画面を同時に開くことができる。						
35	申請状況など一覧で確認できる画面について、ソートすることが可能である。また、ソートの操作はカラムをクリックするなど直感的な操作方法である。						
36	申請状況など一覧で確認できる画面について、フィルタリングが可能である。また、フィルタリングの際には複数条件を組み合わせて実施することができる。						
37	各種申請の履歴が画面表示できること。						

No	項目	要件	標準	カスタマイズ	運用対応	対応不可	特記事項
38		各ユーザが、自分の申請、自分が関与する決裁案件（決裁権者として受け付けた申請等）を検索できること。					
39		申請によって異なる決裁ルートが表示できること。また、所属ごとに異なる設定が可能であること。					
40		申請者の役職によって申請の決裁権者が自動で判定できること。					
41		遡及の申請が可能であること。事実発生日時点での所属、職層に合わせた申請処理と電子決裁が可能であること。また、年度をまたいだ遡及の申請も可能であること。					
42		遡及の申請を行う際には、事実発生日に該当する日付時点の決裁ルートも自動的に設定できること。					
43		付与される権限により代行申請・決裁が可能であること。					
44		申請者による申請の修正、引き戻しが可能であること。また、管理職・決裁関与者・決定権者による申請の差し戻しが可能であること。					
45		最終決裁者の決裁が完了することで、各種申請の決裁が完了状態となること。					
46		各種申請の決裁が未完了のものについて確認ができること。					
47		最終決裁者は起案日以降の任意の日付を決裁日として入力できること。					
48		最終決裁者が起案日より前の日付で決済日を入力した際には、エラー表示され、入力制限が可能であること。					
49		付与される権限によって、決裁完了後も最終決裁の取り消しや修正が可能であること。					
50		付与される権限によって、決裁途中で決裁ルートを修正できること。					
51		決裁時に決裁者が起案内容すべてを参照できること。					
52		複数の部署の決裁者を兼務している場合は、それぞれの部署・役職において決裁者として操作できること。					
53		決裁時に決裁者がリスト形式で件名等を参照しながら複数件を一括決裁できること。					
54		決裁や却下の時にコメントが入力でき、各決裁者のコメントを一覧で確認できること。					
55	運用保守	区教委・職員向けの操作研修を実施すること。また、対面以外にオンラインでも実施が可能であること。					
56		操作方法等について、電話とメールにて問い合わせができること。					
57		端末等の入れ替えなどが発生した場合、新規端末のキッティングについてサポート可能なこと。					
58		操作方法が不明な際には、操作マニュアルの参照以外にもサポートデスク等のサービスがあり業務が継続できること。					

No	項目	要件	標準	カスタマイズ	運用対応	対応不可	特記事項
59		法改正に伴う標準パッケージ機能の改修については、保守対応にて行うこと。					
60		パッケージの不具合（バグ）修正については、保守対応にて行うこと。					
61	セキュリティ	異動者や退職者の出勤簿等のデータについて、保管期間を管理し、保管期間を経過した場合に自動でデータを削除されること。					
62		復旧に必要なデータのバックアップを行うことができること。また、障害時の復旧作業は受注者が実施すること。					
63		各サーバはセキュリティ対策ソフトウェアを導入し、ウイルス対策、侵入検知、侵入防御を行うことができること。					
64		セキュリティ対策ソフトの定義更新は日次で実施できること。					
65		ウイルスチェックを差分データに対して行うことができること。					
66		通信は暗号化通信を使用するなど、第三者が解読できないような対策を実施できること。					
67		パスワードの設定において、以下の要件を満たすことができること。 ・文字数が8文字以上 ・半角英数字及び希望を用いることが可能					
68		システムの操作ログを収集できること。また、日時や所属、職員単位でログの参照と一覧を出力可能であること。					
69		各業務の操作権限を個人に対して設定できること。					
70		各業務の操作権限を所属に対して設定できること。					
71		各業務の操作権限を役職に対して設定できること。					
72		各業務の操作権限を任意のグループを作成し、そのグループに対して設定できること。					
73		システムにログインしている利用者の一覧を表示できること。					
74		パッケージやサーバにて、セキュリティ脆弱性を検知した場合には、速やかにパッチを適用すること。					
75		ISO27017（クラウドセキュリティ）を取得している。					
76		クラウドサービスについて、ISMAPクラウドサービスリストに登録されたサービス、またはそのサービスを利用したクラウドサービスである。					
77		セキュリティ対策における第三者評価を実施している。					
78		その他取得している資格や実施していることを特記事項に記入してください。					